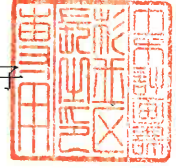


令和 8 年 3 月 31 日

東京都建設局長  
花井 徹夫 様

杉並区長 岸本 聡子



## 都市計画道路補助線街路第 133 号線について

平素より、杉並区内での道路整備事業につきまして、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

「東京における都市計画道路の整備方針」において優先整備路線に位置付けられた都市計画道路補助線街路第 133 号線（以下、「補助 133 号線」という。）につきましては、令和元年の事業概要及び測量説明会開催以降、コロナ禍の影響により測量等の作業が進捗していないものと理解しております。

補助 133 号線は、現道が無いこともあり、まちに与える影響も大きいため地域住民の事業に対する理解が必須です。そのため当区では、(仮称)デザイン会議を令和 6 年度に発足させ、道路事業等の様々な情報を区民と共有しながら、まちづくりへ繋げるべく対話を始めたところです。また、都市計画道路の整備効果を広く区民に知ってもらうため、区独自の指標に基づき、補助 133 号線を含む区内未着手の都市計画道路について検証し、その効果を可視化した結果を令和 7 年 5 月に公表し、地元への説明も行っていました。

しかし、区には、補助 133 号線に対する反対や心配の声が寄せられるなど、まだ十分に理解が進んでいるとは言えない状況であり、更なる対話が必要と考えています。

事業主体である都におかれましても、当区の考えや取組をご理解いただき、単に事業を拙速に進めるのではなく、地域への出来る限りの情報提供や丁寧な説明を行うなど、当区が取り組んでいる地域での対話・議論が進むよう、協力・連携をお願い申し上げます。